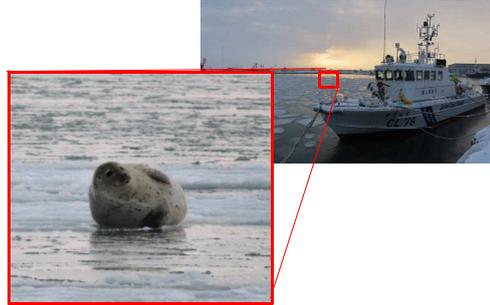


## あゆみ年表 ～ 令和3年 ～

### 3. 1. 12 稚内港内にアザラシ発見!

巡視艇きたかぜ乗組員が海上をふと見ると、氷の上に見慣れない影が・・・そこには愛くるしい目をしたアザラシのくつろぐ姿が。

稚内港内にアザラシが姿を見せるのは極めて珍しく、広報したところ新聞各社から写真提供の依頼が殺到した。



### 3. 2. 9 地元 FM ラジオ番組に稚内海上保安部長が初生出演

地元 FM ラジオ局の生放送番組に森本和弘（もりもと かずひろ）部長が初出演。

部長は、過去に幾度も収録による出演があったものの、フリートーク形式でしかも生放送は、初めてで、緊張した面持ちで庁舎を出発。しかし、放送開始からパーソナリティーとの軽快なトークを繰り広げ、当庁のPRはもとより多彩、多様な話題を提供。地元住民からより愛される組織と業務の理解へ繋がった。



### 3. 4. 12 稚内の海がエメラルドグリーンに

当部職員が、航路標識巡回・点検中に、珍しい鯨郡来（にしんくき）に遭遇した。

鯨郡来とは、北海道に日本海沿岸で春に見られるもので、産卵期に鯨（ニシン）が沿岸で大挙して押し寄せ、産卵・放精により、海の色が乳白色になる現象。

稚内では令和元年に66年ぶりに郡来が確認され、一昨年、前年に続いて、今年も発生。稚内灯台を巡回・点検中に偶然目撃した職員は、普段は荒々しく青黒い海面が、綺麗なエメラルドグリーンに染まった美しい光景を、灯台の踊り場の絶好の位置から堪能することとなった。



### 3. 5. 26 保健所による感染症予防対策研修

北海道を含め日本全国では、未だ新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染防止対策に予断を許さない状況が続く中、5月26日に稚内保健所長を招聘し、新型コロナウイルス感染予防対策の基礎知識についての研修を行った。



北海道では、5月16日に緊急事態宣言が発出され、宗谷管内においても立て続けに感染者が発生したことから、感染症に関する知識の向上及び予防対策について、改めて確認・再認識がなされた。

### 3. 5. 28 宗谷岬東方でロシア警備艇が日本漁船を連行

5月28日午前10時1分頃、宗谷岬東方海域で操業中の漁船から稚内海上保安部にに対し、ロシア国境警備局の警備艇から停船を求められているとの通報があった。

付近海域で操業中の日本漁船からの情報によると、午前11時15分頃、ロシア警備艇は北向け当該漁船を連行しているとのこと。

直ちに巡視船が現場に急行し、情報収集にあたった。

### 3. 6. 26 利尻島雄忠志内漁港行方不明者

25日19時頃から雄忠志内漁港で釣りをしていたと思われる男性が、26日朝になっても帰宅しないことから、同人の母親が同漁港に向かったところ、車、釣り竿が残され、更に海面に同人の着衣が浮いているを認めた。

警察経由で情報を入手した当部は、海中転落の可能性があることから、巡視船りしり、千歳航空基地所属MA724、釧路航空基地所属MH755、釧路海上保安部所属巡視船えりも潜水士を捜索にあたらせた。

その後、巡視艇きたかぜが捜索に加わるも手掛かり無く、6月28日日没をもって専従捜索を終了した。

### 3. 11. 17 離島の高校で出前授業を実施

利尻島における唯一の高校である北海道利尻高等学校に、公務員志望の生徒たちに直接、当庁の業務を説明するべく機会を伺ったところ、1・2年生の社会科の時間での出前事業が実現した。

授業は11月17日に行われ、海上保安庁の業務のほか、マリンレジャーにおける事故防止、領海や排他的経済水域に関する説明が行われた。生徒たちは日頃から海に接して生活し馴染みがあることから、反応が良く、講師となった当部職員の熱弁にも拍車がかかり、授業は生徒たちの真剣さと意欲に満ち溢れたものとなった。

